代表取代表形	プロパン 所在地	福岡県飯塚市大分 1285-9			
有吉	R締役 連絡先	担当者名	営業主任 篠原 敬	電話	0948(72)1225

地図 事業所









事業名 無線式集中監視システムを活用した、集合住宅における保安高度化・業務効率化推進事業 事業内容 集合住宅に係る保安・検針業務の効率化推進を図るため、集中監視システムを新規導入

- 事業の狙い ① 都市部に集中した集合住宅に対する保安・検針業務の効率化促進。
  - ② セキュリティマンションへの対応により、居住者へのイメージアップ。
  - ③ 保安情報の配信により、緊急時の迅速な対応を可能とする。

- 求める効果 ① 交通密集地での検針業務等の稼働時間が大幅な短縮となり、営業強化に繋がる。
  - ② 顧客プライバシーの確保から信頼性が向上し、競合エネルギー対策ともなる。
  - ③ ガス遮断に対する速やかな対応が可能となり、保安レベルの一層の向上が図れる。

### 費用等

費用総額

5,284 千円

自己資金 2,642 千円 補助金

2.642 千円

# の状況

- 事業実施前 ① 飯塚市は福岡県の中心地である福岡市に近接し、通勤時間も60分足らずのベッドタウ ンとして栄えて来ていたが、「炭鉱の街」のイメージから若年層の他地域への流出が進み、 近年は高齢者世帯の増加が目立って来ている。
  - ② 当社の供給エリアは飯塚市内と福岡市内が大半となるが、地元の飯塚市内は上記の通り 高齢者世帯増加する一方で、福岡市内は大規模マンションが乱立している。
  - ③ 電化の攻勢も新築物件での採用が多く、当社で供給していた簡易ガス団地も地点数は 70 戸を超えるがオール電化住宅の増加によりやむなく集団供給へと切り替えた。
  - ④ 今回はこういった実情を踏まえ、経営基盤の強化に取り組むべく実施した。

事業展開	事美	業開始日	7月2日		事業完了日	1月31日	期間	7ヶ月間
	人員体制		8名		社内	3名	社外	5名
		0 🗆		15	+T <b>△</b> ++	集中監視設置先	選定及び	リスト作成
	8月~1	HUH	日間	打合せ	アパートオーナー様への承諾取り			
	具	O E a . 1	8月~12月		得意先	集中監視センターへ得意先登録、伝送装置		
	A	○月~1	2 <i>H</i>	日間	登録	登録等、マスタ作成。		
		10月~12月		20	端末機	無線機設置先調査及び設置工事。		
		TOA/~	12月	日間	器設置	通信試験等。		
	開	12月~1月	10	設置先	設置先の追加及	び再検討。	端末機器追加発注、	
170	IZH,	173	日間	見直し	設置工事、試験通信			
		2月	10日間	10	実績報	   埋出田姿料一式:	推供 15.7 N	<b>主结却生</b> 型作成
				告作成	提出用資料一式準備及び実績報告書作成。		大順形口首177%。	

### 補助事業推進担当者



### 集中監視端末機器



### 執務室内



発生した

① 当初設置を計画したが、PHS電界強度不足により、設置不可となった物件が生じた。

課題点

②物件オーナーへの事前説明が徹底しておらず、機器設置場所の変更が不可となった。

行った改善点

① 他物件に集中監視システムを設置し、検針合理化を行なった。

② 予め現地調査を行ったうえで設置場所を特定し、オーナーへの説明時には当該場所への設置が必要である旨を示し了解を得ることとした。

得られた

① 交通が混雑、駐車場確保が難しい地区で安全に「、効率よく検針業務を実施している。

効果

② 部外者の立ち入りを極力抑制しつつ、検針合理化、利便性と保安の向上ができ、LP ガスのイメージアップに寄与した。

効果の額

① 検針の効率化 実稼働▲20時間/月 費やす時間を営業活動に移行し業績貢献した

② 主要経費削減 営業車使用時間減少 燃料換算 150ℓ→30ℓ/月減少となった

自己評価

企画内容

85点

推進手順

75点

総合評価

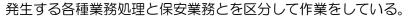
80点

<集中監視設備>

当社はメーカーの共同監視センターを利用しており、事務所内にはセンターからの情報受信のための端末機器を設置している。



端末機器は2台併設し、双方共に 必要な情報を取り出して作業が可 能な状態としている。現在は日常





モニターに表示されている内容は、色別表示やグループ表示がされ 情報の内容が瞬時に判断出来るように区分されている。緊急情報が 出た場合は、当直担当者へ伝達され出動した後結果がフィードバッ クされるため、事後の処理が適切に行える。

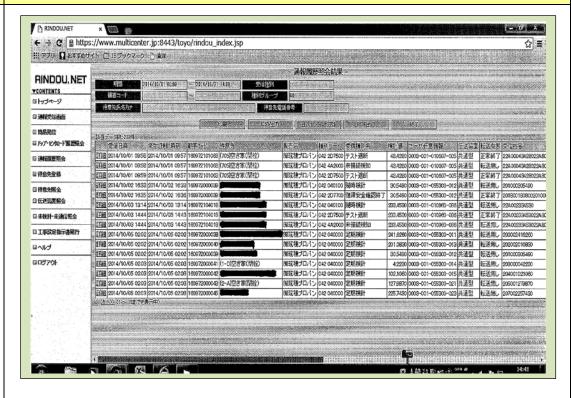


また、当社独自で回収業務のシステムを手掛けており総顧客の約80%が登録済となっている。写真の簡易ガス団地や集合物件は殆どシステムに組込み運用している。近年クレジットカード決済を求める顧客が増加しており、決済期間が短縮されるためコンビニでの支払いと併せ積極的に推進していきたい。

### 反省点

- ① PHS電界強度不足による当初計画物件への設置不可により、他物件のリストアップ から始めなければならず、事業終了までの期間が延びた。
- ② 事前の通信状態の再確認を行ったうえで、計画を作成する必要がある。

# 集中監視端末画面



## システムフロー図

# 東洋計器マルチセンター 「中国語・科会お知らせ」 東洋計器マルチセンター 「アレメ検針」 ・直隔操作 ・直隔操作 ・東帯システム ・中国語・科会お知らせ ・東帯システム

## コンビニ用請求書



反響・意見等	社内 (	1) 店舗より離れ、交通が混雑し、駐車場確保が難しい地区を中心に集中監						
.5.2	視を設置したので、業務効率が良くなった。							
	② Webにより随時検針、遮断等の遠隔操作も行えるので、安心。							
		① マンション内への立ち入りを減らし、保安の向上とタイムリーな対応を						
	(対象先等)	期待できるので、顧客・管理会社からの評価が高まった。						
		② 保安面での評価(入居時のアピール・ポイント)が高い。						
	業界等 ① 今後同様な事業者からの問合せが発生した場合は事例を案内する。							
		② 業務効率化のモデルケースとして業界に浸透させたい。						
総合見解	① 店舗より離れ、交通が混雑し、駐車場確保が難しい地区を中心に集中監視を設置し、							
	業務効率が向上した。数値化は困難であるが、交通事故のリスクも軽減した。							
	② マンショ	ン内への立ち入りを減らしつつ、保安の向上とタイムリーな対応を期待でき						
	るので、	管理会社からの評価が高まった。						
今後の方針	① 費用対効	果を勘案の上、業務効率を向上できる現場を中心に、集中監視の活用を検討						
	している	ところである。						
	② エネルギ	一自由化も迫る中、「安全・安心・便利」なガスをお届けする事業者として						
	経営基盤	強化を図って行きたいと思う。						
経営者の声	代表取締役 業務効率化、経営基盤強化のほかにも、構造改善事業により新たなチャ							
		ンジの機会を戴き、社員の意識向上にも役立ったと考えます。						
	取締役 今回の経験を踏まえ、投資効率の良い現場から集中監視の展開を図りたい。							
補助事業に対	① 炎のある:	生活を守る観点から、高効率コンロへの補助事業を希望。						
する要望等	② 当社供給	先のマンションもまだ数多く存在するため、本事業で行ったシステム構築を						
	継続して実施したいが、予算の関係で難しい場合もあり同一事業の継続実施について							
	も検討願	いたい。						
日団協担当	O	業に関しては、補助金活用の公正・公平な観点から本事業では第2回目の募						
	集からの	受付として行っており、応募状況により異なりますのでご理解願います。						
	<ul> <li>② 本事業は、販売事業者の顧客に対する営業活動推進に大きく貢献し従前より顧客との接点強化を図るべく展開してきた他事業者各位にも大変参考となる事例であると考えます。また、近年求められている個人のプライバシー尊重についても役立つ内容ではないかと確信しております。</li> <li>③ 都市部では全国的にオートロックマンションが普及しており、避けては通れなくなっております。販売事業者各位も自社供給エリア周辺の顧客の現状に併せた方策を考え実践する事がLPガスファンづくりとなり、その事が正に経営基盤の強化に繋がる事となるのではないでしょうか。</li> <li>④ 会後若々生活様式が多様化し、従来からの経験では計り知れない事柄が発生します。</li> </ul>							
		<ul><li>④ 今後益々生活様式が多様化し、従来からの経験では計り知れない事柄が発生します。</li><li>それらを受入れる柔軟な対応が必要な時代である事を自覚しましょう。</li></ul>						
その他		ミ施した補助事業に関しての詳細については、 は、						
		パン 営業主任 篠原宛てにご連絡ください。						
	また、 <u>shino</u>	<u>hara@Q-SAN.co.jp</u> 宛てにメールを頂いても結構です。						